

チェチェンへ アレクサンドラの旅 (2007)

ALEKSANDRA
ALEXANDRA

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 ロシア／フランス

色彩 Color

時間 92分

初公開日 2008/12/20

公開情報 パンドラ＝太秦

【キャッチコピー】

孫へのまなざし
平和への祈り

【解説】

ロシアの巨匠アレクサンドル・ソクーロフ監督が、いまだ戦闘の止まぬチェチェン紛争の最前線で撮り上げた感動ドラマ。愛する孫の顔見たさに最前線までやって来た老女の姿を通して、戦争が普通の人々の人生にもたらす悲劇を静かに見つめるとともに平和への祈りを力強く描き出す。世界的チェリスト、故ロストロポーヴィチの妻にして世界的なオペラ歌手ガリーナ・ヴィシネフスカヤが、映画初出演とは思えぬ演技で賞賛を集めた。

80歳のロシア人女性アレクサンドラは、チェチェン最前線に勤務する孫のデニスに会うため、はるばるチェチェン共和国、グロズヌイのロシア軍駐屯地へとやって来る。そこは土埃が舞う荒野にテントを並べただけの過酷な環境だった。デニスの案内で基地を見て回るアレクサンドラ。そんな彼女に温かな眼差しで接する兵士たち。彼らの中にはまだ少年といえそうな若者が大勢いた。ある時、近くの市場に出かけた彼女は、そこでロシア語の堪能なチェチェン人女性マリカと親しくなり、彼女の家に招かれるが…。

【クレジット】

監督	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
脚本	アレクサンドル・ソクーロフ	Aleksandr Sokurov	
撮影	アレクサンドル・ブーロフ	Aleksandr Burov	
音楽	アンドレイ・シグレ	Andrey Sigle	
出演	ガリーナ・ヴィシネフスカヤ	Galina Vishnevskaya	アレクサンドラ
	ヴァシリー・シェフツォフ	Vasily Shevtsov	デニス
	ライサ・ギチャエワ	Raisa Gichaeva	マリカ